

事業所名

きずな

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2026 年

4 月

17 目

法人（事業所）理念		『なりたい自分』を創造しながら、支援者がご本人やご家族の応援団となり、『今』も『未来』も『ずっと』笑い合える日々が過ごせるようにサポートします。												
支援方針		○「好き」や「得意」からできる事を増やす。 ○「どこでも」「誰とでも」継続して出来る力を育む。 ○「HUG（はぐ）」を活用した具体的な情報提供												
営業時間		平日 休日	9 9	時	30 00	分から	18 17	時	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※広川町内の保育園・幼稚園送迎のみ実施。
支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	・食事・排泄・着脱・手洗い・歯磨きなど生活面で必要なスキルの習得や向上に向けた療育。 ・避難訓練。												
	運動・感覚	・体力向上や体幹を鍛えるための運動遊びの提供(風船バレー、サーキット、ダンス、ボルダリング、ブランコなど) ・手作りの活動(フルーツぐらぐらタワーゲームやボール分けゲームなど)や個別課題(プットインや作業、シール貼りや運筆など)を通した指先のトレーニングの提供												
	認知・行動	・1日のスケジュールボードの掲示(イラスト、写真カードや文字を使用)。必要に応じて個別のスケジュール表(記入式や絵カード)を使用し、認知形成を行う。 ・就学に向けて継続した着席を行う練習や引き出しを使った片付け・準備の練習する。靴箱や棚には写真カードや名札を設置し、自分で荷物の管理が出来る力を養う。 ・活動を通して文字・数字や交通ルールを学ぶ機会を提供する。(数字探しゲーム、信号ゲーム、交通ビンゴなど)												
	言語 コミュニケーション	・絵カードや写真カード(職員個々が常に絵カードセット所持)を用いてコミュニケーションスキルの習得や向上を行う。 ・買い物遊びなどで店員役とお客さん役でのコミュニケーションの練習や色や絵と文字、数字のマッチングを目的とした活動(言葉探しゲームや色分けゲームなど)を取り入れ、文字やものの名称、色の理解の習得を目指す。 ・基本的な挨拶やお礼や謝罪など他者とコミュニケーションをとる上で必要なやりとりを絵カードなどを用いながら反復練習を行い、習得を目指す。												
	人間関係 社会性	・小集団や集団活動でルール(順番を待つ事や時間や回数の決まりなど)のある遊びをタイマーや数字のカウント、ジェスチャーを用いて場面の切り替えを明確にする。 ・始まりの会や終わりの会の司会などの役割を通して、人前で発言する力を養う(一人ひとりの課題に応じてセリフ表を準備)。 ・余暇時間の中で遊びを通して、ものの貸し借りの練習を行う。												
家族支援		・保護者参加型のイベントの実施や交流会を実施し、ご家族同士の交流の場の確保。 ・課題や悩み事を共有し、必要に応じた情報提供や支援グッズの提供。 ・ニーズに合わせた利用調整を行い、ご家族のリフレッシュや休息時間の確保。						移行支援		・進学先への情報提供、会議参加による課題共有 ・保育園や学校との会議参加				
地域支援・地域連携		・相談支援事業所主催の会議へ参加し、併用事業所との情報共有や課題検討し、密な連携を図る。 ・広川町子ども部会へ参加し、町内の事業所との連携を深める。 ・地域イベントや展示会に参加し、顔が見える関係性作りを行う。						職員の質の向上		・新人職員研修 ・事業所内研修(虐待防止、感染症予防、BCP) ・eランニング研修(マナー、苦情解決、発達障害基礎) ・ケース検討会議、ヒヤリハット検討会議				
主な行事等		・保護者参加型のイベントの実施や交流会を実施し、ご家族同士の交流の場の確保。 ・課題や悩み事を共有し、必要に応じた情報提供や支援グッズの提供。 ・ニーズに合わせた利用調整を行い、ご家族のリフレッシュや休息時間の確保。												